

## 東播磨わらしべ長者義塾

地域課題解決のための企画とプロデュースの手法を学んで思いをカタチにするために、「実践型東播磨人養成入門連続講座」を開催しました。

1回目は西村仁志 広島修道大学准教授から、まちの資源を活かして市民が進めるまちづくりについて、ソーシャル・イノベーションの概念とその事例を交えてお話いただきました。2回目はそれぞれの思いと課題に沿って企画書を書きました。

講座に加えて2回のワークショップを開催し、ひと・もの・技術などの地域の宝物の掘り起こしや、課題解決につなげるためのアイデアと手法を参加

者全員で考えました。その成果も踏まえて、11月11日の最終回では、東播磨にふるさとを感じる人を増やすための「東播磨ふるさと探検隊」などの地域への思いのこもったユニークな企画が多く発表されました。今後、新たな実践活動につながっていくことを期待しています。



## WANWANコミュニケーション



犬を介したコミュニケーションを目的として、11月28日にデイサービスで「ふれあい訪問」を実施しました。

大好きだった動物のお世話をすることができなくなり、動物に触れる機会もなくなってしまった高齢者の方が、久しぶりにワンちゃんたちに触れ合うことで、職員の方が見たことのないような笑顔や行動を見ることができました。

犬を囲んで、利用者の方の楽しそうな笑顔と、笑い声がとても印象的でした。

## かまどでご飯を炊く会

11月27日に、加古川市東神吉町の東神吉幼稚園で、園児と保護者を対象に地元のお米や野菜を使った「かまどでご飯を炊く会」を開催しました。

園児たちは指導のお兄さんやお姉さんと一緒に米洗いや薪割り、火起こしをしてご飯炊きに挑戦しました。その間に保護者の皆さんは、兵庫農漁村社会研究所代表 保田茂先生から、「ご飯や魚を食べる大切さ」のお話をしっかり聞きました。

園庭では、かまどで炊きあがったご飯と地域の皆さんが作ってくれた大鍋の豚汁の香りが広がり、

炊きあがりのお釜の周りは園児の笑顔があふれました。

園児と保護者、参加者による試食会では、「ご飯の美味しさを再確認した」、「家庭でご飯や食べ物の話ができる」と話す保護者が数多くいました。

